

第7回潮音寺こころの学校 特別公開講座

「まほろば塾・歴史文化講演会」

平成20年3月2日(日)午後1時より

参加無料

場所 潮音寺講堂 茨城県潮来市日の出4-7

演題 「阿波から黒潮に乗って

あわ いんべ
関東を開拓した阿波忌部～日本文化の源流」



講師：林 博章 氏

・1965年生まれ。青山学院大学法学部卒。2005年3月鳴門教育大学大学院修士課程修了(地理学)。地球環境の深刻な実態を啓発するために、1995年に「阿波から地球へのメッセージ」をスローガンとして、徳島アースフォーラム実行委員会を結成。以来、エネルギー技術・オゾン層破壊・地球温暖化・食糧・ゴミ問題・心の問題等をテーマにして10数回のイベントを企画・開催する。1999年には、徳島市市民環境会議の副議長を努め、21世紀の徳島市環境基本計画の市民案をまとめる。1997年から古代阿波の歴史研究に着手する。県立高校社会教諭。

林先生の言

阿波忌部は、四国阿波の国を開拓した集団でした。その阿波忌部族は、今から約1800年ほど前に、日本各地に進出して麻・穀を植えるとともに、農業・織物・鍛冶・製紙などの技術を携え、ヤマト朝廷成立の立役者となるとともに、黒潮に乗って房総半島に渡来して後、関東一円を開拓していきました。その歴史をはじめて常陸国に伝えにいきたいと思います。日本文化の源流は一体どこにあったのか、日本社会自体が混迷を向かえ、出口が見えない状態の中、今こそ、そのルーツや源流、根底に流れる思想を見つめ直す機会にしたいと思います。

主催 「まほろば塾・潮音寺こころの学校・歴史文化講演会実行委員会」

【お問い合わせ】

水雲山潮音寺「こころの学校」事務局

0299-66-0623